



「風水害24」ゲームで体験！

防災避難を通して市民協働を学ぶワークショップ



風水害24

気候変動時代を生きぬく

多くの人的・経済的被害をもたらす風水害が多発しており、私たち日本人にとって大規模風水害の備えの知識を持つことは、生活する上で必須の時代。

「風水害24」というシミュレーションゲームを通して、風水害にはどのような備えで、どのタイミングで行動が必要なのかを状況に合わせて学んでいき、周囲の家族や地域住民へどのように声掛けをしていくかをゲームを通して体感します。

防災避難としてだけでなく、団体活動の中や地域の中で自身の役割は何かを考える体験にもなるかと思えます。

防災や気候変動・SDGsに興味がある方、NPO・市民活動や自治会など組織として活動されている方、防災教育に興味のある方など、ぜひ参加してみませんか。

参加無料

令和4年10月30日 (日)

13:00~16:00 (12:30~開場)

市民交流施設ぷらっと

江別市東野幌本町6-43 (C・D会議室)

定員20名 ※先着順

※申込締切 10月24日 (月) ※



講師紹介



たかはし ゆうすけ
高橋 優介 氏

ワークショップデザイン
describe with 代表

1980年室蘭市生まれ。2011年より環境NGOで国立公園の環境保全、ごみの分別促進、シェアサイクリング推進、震災支援活動などに携わり、高校生・大学生と全国各地の地域をマッチングし、ボランティア活動のコーディネーターを務める。2013年からは事務局長として団体の運営に関わり、寄付などによるファンドレイジング(活動資金の調達など)やCSRも担当。2017年にソーシャルアクションを展開し、現在はSDGsのワークショップも手掛け、小学~大学、企業、自治体、NPO、町内会など全国各地で実施し、2019年だけで約6,000人の方にワークショップを届ける。また、学校やNPOなどのソーシャルアクションの研修や運営サポート、NPOと地域や若者、企業、学校をマッチングするサポート、NPO法人立ち上げの支援や運営の相談なども関わる。

青山学院大学社会情報学部 認定ワークショップデザイナー / 「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター
日本ファンドレイジング協会認定社会貢献教育ファシリテーター・准認定ファンドレイザー

「風水害24」は、来たる気候変動時代、風水害多発時代に備え、風水害適応リテラシー(自分自身と地域住民の安全を確保するための適切な行動がとれる知識)のある住民を増やすための地域人材育成プログラムです。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとご協力をお願い※

- ・会場参加の方は感染防止のためにマスクの着用をお願いします。
- ・発熱や咳等、体調がすぐれない場合は、会場参加をお控えいただきますようお願いいたします。
- ・会場の受付に消毒液を設置いたしますので、利用をお願いします。
- ・スタッフは全員マスクを着用し、会場内の座席は間隔を十分に確保したレイアウトとします。
- ・ワークショップ中は、室内の換気を十分に行います。

【お問い合わせ・お申し込み 江別市民活動センター・あい】

TEL 011-374-1460

この事業は、江別市からの委託を受け、NPO法人えべつ協働ねっとわーくが実施するものです。

この事業は、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施します。

〒069-0824 江別市東野幌本町6番地43

市民交流施設「ぷらっと」内

FAX : 011-374-1461

E-Mail : info@center-i.jp

